

大串ひろやす通信

発行者 千代田区議会議員 大串博康

〒102-0083 麹町2-14-305 Tel/Fax:03-3221-1554

この通信では

以下の3点について紹介させていただきました。

	コーナー	内容
1	第4回区議会定例会 一般質問	情報化の進め方について質問しました。
2	ちょっと教えて	十年の基本計画(案)について教えて！。
3	お知らせ	介護サービス評価がスタートします。内容・苦情対応など

母・名前は平和に

= その日生まれた赤ちゃん =
「娘は、ソルハ(平和の意)と名付けたいの」



暫定行政機構が発足した22日、カブール市内の病院で生まれたジャハンさんの赤ちゃん

アフガン暫定機構発足(12月22日)

アフガニスタンで暫定行政機構が発足した22日、カブール市立マライ産科病院では、五十人の赤ちゃんが誕生した。親たちは、次世代を担う子供らに「平和」や「国家再建」への思いを託した。「娘は、ソルハ(平和の意)と名付けたいの」。二十二日午後三時四十五分五人目になる娘を産んだヌル・ジャハンさん(28)は、まくら元で眠る赤ちゃんを見つめながら、そう言ってほほ笑んだ。「私たちとこの国が平和になってほしいから」

病室の外では、夫の国連職員のアブドル・マナン・ザヘッドさん(36)が妻の元に行く許可が出るのを待ちわびていた。「国が生まれ変わる日に、子供を授かるなんて幸せだ」。ザヘッドさんはそう言うと、少し神妙な顔をして、「男だったら、新議長(首相に相当)ハミド・カルザイ氏からハミドの名前をもらうつもりだった。娘だからザイナップ(役に立つの意)にしたい」と言った。タリバン時代、ザヘッドさん夫婦の家は秘密警察に監視され、不安におびえていたと言う。「二度と戦争をしない。教育を充実させる。それが新政権の目的だよ」と、ザヘッドさんは話した。ジャハンさんと同じころ、男の赤ちゃんを産んだ教育省の役人の妻、リナさん(28)は、「息子はミラージュ(明かりの意)と名付ける」という。以上12月23日読売新聞朝刊より。

前号に続きアフガニスタンを一面で取り上げることとなりましたが、時代を担う子供たちに平和への思いを託す母そして父の様子に感動し、その記事全文を掲載しました。どこの国も母の子を思い平和を愛する気持ちは共通だと思いました。特にアフガニスタンではその思いは強いと。

情報化によって何が変わるの

私たちににとってのメリットは

一般質問



皆様からの声

情報化を提案してよ。(男性経営者)

IT化、情報化って具体的にどういうこと。私たちの生活と行政サービスはそれによってどう変わるの。(主婦)

電子自治体ってどういうこと。

IT講習に参加したけどこれからもパソコンを習いたい。など

私の一般質問

- (1) 情報化推進のためのビジョン、戦略について
- (2) IT講習の成果と今後
- (3) 住民基本台帳ネットワークシステムについて

(1) 情報化推進のためのビジョン、戦略について

- 質問抜粋 - 区として何のための情報化またはIT化かまたどう進めていくのか、区民の皆様にも明らかにする必要があります。「情報化推進計画」または「IT戦略プラン」というような明確なビジョン、戦略を自ら作成していくことは必要ではないでしょうか。中略 リーダーシップを発揮される区長にお伺いします。

【区長答弁】

こうした問題について、国や都よりも積極的に取り組むべきである、あるいはこの情報化について、ご指摘によりお客様志向、サービス志向という観点から取り組むべきであるし、こうしたことが情報化の大きなねらいであるというご指摘は全く同感であります。

お話にもございましたように、区市町村は基礎的な自治体でございます。最も住民に身近な団体であります。そして、直接間接を問わず、たくさんの行政サービスを市民の方に提供させていただいているわけでございます。これは国や都とは基本的に違うわけでございます。私は区政はサービス業というふうに申し上げてまいっております。そうしたことを考えますと、この情報化というものを最も必要な立場が区市町村であると思っております。- 中略 - 今こうした観点に立って、千代田区の情報化に向けて指針を検討しておりますが、この指針を踏まえて具体的な計画を今後早急に作ってまいりたいと思っております。多分、将来的には「電子自治体千代田区」と、そうした状況が実現をされてくるのではないかとこのように思っております。



産官学民の連携をもって

- ① I T戦略は地域戦略である
- ② 管理型行政→経営型行政へ
- ③ 提供者主体→利用者主体へ
- ④ 縦割り組織→柔軟な組織へ

- 質問抜粋 - 以上情報化により目指すべき方向はI T戦略は地域戦略である。上意下達の管理型行政から顧客中心の経営型行政へ。またサービス指向、これは提供者主体行政主体から利用者主体区民主体へ。そして縦割り組織から柔軟な組織へ。これらの4点は情報化を自治体自らが主体的にまた産官学民の連携を持って取り組むことによって実現できることだと思います。

【区長答弁から】

情報化という観点のときに、何といたしましても、サービス業として区民の皆様方の利便性、満足ができるような形でこの情報化というものを行っていくのだからと思います。私は多分、この情報化というシステムが導入されるならば、正に区民とサービスを提供する行政とがリアルタイムでつながる、そうしたことになってまいるのでございますから、当然組織のあり方、そして仕事のやり方、そうしたものをこの情報化という中できちっととらえて、システムを構築していかなきゃならないと思います。- 中略 - たまたま住基ネット、住基カードというものが連動はいたしますけれども、むしろこうしたことをきっかけにして、本格的にサービスとはそもそも何ぞやというところまで原点に返ってこの情報化というものをとらえて、仕組みを作っていく必要があると思います。

(2) I T講習の成果と今後

【企画部長答弁】

区では今年度、I T利用に向けた区民の皆様方の「きっかけづくり」を目的といたしまして、既に本年10月末までで77回のI T講習を実施し、約1400名の方々に受講をしていただきました。現在3期分の講習を行っておりますが、最最終的には2000名を超える方々の受講をいただけるものと見込んでおります。

- 中略 - さらに上のレベルの技能を修得したいという方々には今後、既存施設等を活用してパソコンに触れることができる場の提供などの取り組みを進めてまいりたいと考えております。

(3) 住民基本台帳ネットワークシステムについて

現在の状況と特にI Cカードの活用方法について質問しました。



ちょっと教えて 十年の基本計画案って

十年の基本計画（案）が示されました - 平成十四年度～平成二十三年度 -

私は、現在の経済を含めた社会全体は五十年、百年に一回あるかないかの大きな変革期にあると思います。それは、あのイタリアルネッサンスに匹敵するであろう庶民、大衆の側から全てが発想されていくという変革であると確信します。その観点から今回の基本計画もはその一步となるべくしていかなければと思います。それぞれのサービスがどうあるべきなのか、現状と課題をまず把握し将来の姿をできるだけ具体的に明示していくものです。行政も情報の共有化からプロセスの共有化へと一歩一歩変わろうとしています。「計画の特徴」として本文には

「区民に『施策の目標』を明確にし、区民に対する説明責任を徹底、事業の継続的な改善や見直し、費用に対するより大きな効果をめざす、行政評価制度と連携した新たな視点による基本計画を策定する。」と、あります。

基本計画全文は下記HPを見ることができます。

<http://www.city.chiyoda.tokyo.jp/tokusyu/choukei/keikakuan/keikakuan.htm>



お知らせ 介護サービス評価を実施します

介護保険サービス事業者の選定に参考になります！！

千代田区は十二月十八日、全ての介護保険サービスを対象に区内の利用者から意見を聞くとともに、区内の事業者に自己評価をしてもらうサービス評価事業を実施すると発表しました。全ての介護保険サービスを評価する取り組みは全国で初めてとなります。その結果を公表し利用者が事業者やサービスを選択する際に役立ててもらいます。調査は十四年一月に実施します。全ての介護保険サービスを対象として、区内のサービス利用者約千二百人全員から、満足度を調べます。区ケアマネージャーサービス事業者リストに掲載されている約二百五十事業者についても、指定事業者運営基準をもとに達成度などを調査します。この双方の結果を比較し、区介護保険運営協議会の審議を加え評価します。また、区介護保険課の窓口対応などの業務も評価対象となります。そして三月末結果公表を目指します。区では、毎年サービス評価事業を続けるとともに、来年度は他分野の福祉サービス評価も始めたい、としています。（以上十二月十九日東京新聞から）



編集後記

先日、千代田区情報化指針（案）中間のまとめが発表になりましたが、推進にあたって（１）顧客志向（区民の皆さんにとって、より便利なものを目指す）の追求（２）行政内部からの変革の二点を基本に取り組みますとありました。 <http://www.city.chiyoda.tokyo.jp/tokusyu/e-chiyoda/index.htm> この通信を読まれたの感想、ご意見そしてアドバイスお待ちしております。また地域のこと、日頃の身近な相談等何でも結構ですのでお気軽にご連絡下さい。Tel/Fax: 3221-1554. e-mail:ogushi@mvp.biglobe.ne.jp

区議会議員 大串博康